

科目ナンバリング：ULT-2-201-05



■授業の目的及び到達目標

英語教員として身に付けておくべき、英語教育に関する基礎知識を学びます。到達目標は、英語教員として必要な教育学、言語学、心理学の理論を理解するとともに、文法や語彙、表現、4技能（聞く、話す、読む、書く）の教授理論を習得することとします。また、教育実習に必要な英語力、コミュニケーション能力、説明能力や技術、教員として適切な態度も育成します。

■授業計画

〔前期〕

- 1 オリエンテーション 英語科教育の目的
授業内容や授業の進め方を説明します。
また英語科教育の目的について考察します。
- 2 英語の国際化
国際語としての英語の在り方や、異文化理解に関する指導について解説します。
- 3 学習指導要領
学習指導要領の変遷、および現行の学習指導要領の内容について解説します。
- 4 学習者要因
発達要因、適正要因、認知的要因、動機などの学習者要因について学び、生徒の特性や習熟度に応じた指導を考えます。
- 5 英語教員
英語教員として必要な技能を、生徒に与える心理的影響から考察します。
- 6 早期英語教育
小学校における英語教育の目的や方法、および小・中・高等学校の連携を考えます。
- 7 外国語教授法①
Grammar-Translation Method, Oral Approach, Audiolingual Method の指導法を学び、その効果や問題点を考察します。
- 8 外国語教授法②
Total Physical Response, Natural Approach, Communicative Language Teaching の指導法を学び、その効果や問題点を考察します。
- 9 外国語教授法③
Content-Based Instruction, Task-Based Language Teaching, Content and Language Integrated Learning など近年の教授法の概念を学び、その効果や課題を考察します。
- 10 第二言語習得と英語教育
第二言語習得に関する理論を学び、英語教育における活用法を考えます。
- 11 eラーニング・CALL・ICT&教材研究
言語学習におけるテクノロジーの効果的な利用方法について学びます。
教材論を概観し、教材研究の意義を考慮し、教科用図書进行分析・評価します。
- 12 Team Teaching/英語でのインタラクション
日本の英語教育におけるチーム・ティーチングの理念、成果や課題を考察します。
授業で英語使用の機会を増やすため、英語でのインタラクションの指導方法を学びます。
- 13 まとめと試験
前期の授業を総括し、理解度を検証するために試験を行います。
(フィードバックと解説は後期初回の授業で行います)。

〔後期〕

- 1 前期試験の解説と文法の指導①
前期試験のフィードバックおよび解説を行います。
文法指導の意義について考えます。
- 2 文法の指導②
与えられた文法教材を使って、模擬授業の指導プランを作成します。
- 3 語彙・表現の指導
指導すべき語彙や表現の選択方法や指導方法について説明します。
実際の授業に活かすことのできる語彙や表現の指導方法を考えます。
- 4 英語の音声的な特徴 & 聞くことの指導①
音声学の理論から英語音声の特徴を理解し、効果的な音声指導の方法を考察します。
リスニングのメカニズムや指導法、指導過程における問題点を概観します。
- 5 聞くことの指導②
事前指導、リスニングの言語活動、事後指導を含むレッスン・プランを作成します。
- 6 話すことの指導①
話し言葉の特徴やコミュニケーションにおけるスピーキングの重要性を学びます。
- 7 話すことの指導②
コミュニケーションを促進するスピーキング活動のレッスン・プランを作成します。
- 8 文字に関する指導
アルファベットや句読法の指導の重要性を理解し、効果的な指導法を考察します。
- 9 読むことの指導①
リーディングのメカニズムや指導法、指導過程における問題点を解説します。
- 10 読むことの指導②
生徒が能動的にテキストに関わるリーディングのレッスン・プランを作成します。
- 11 書くことの指導①
ライティングのプロセスや指導法と採点法、問題点について解説します。
- 12 書くことの指導②
ライティング課題および採点基準や採点法を含むレッスン・プランを作成します。
- 13 まとめと試験およびその解説
後期の授業内容を総括し、試験します。フィードバックはブラックボードで行います。

■授業の方法

前期は、講義+ディスカッション形式で行いますが、教育実習を視野に入れて、理論を実践に移す準備をします。後期には、教材を作成したり、レッスン・プランを作成したり、模擬授業をしたり、授業評価をしたりします。

■予習・復習

原則、毎週課題を出します。前期は、教科書を読んでノートを作成してから授業に出席していただきます。後期には授業外で相当の時間を使ってレッスン・プランの作成や模擬授業の準備をしていただきます。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

前期・後期試験（30%×2回=60%）とレッスンプラン・模擬授業（40%）、で評価します。なお、後期試験のフィードバックはブラックボードを通じて行います。

■教科書・参考書

教科書：望月昭彦編著(2018).『改訂版新学習指導要領にもとづく英語科教育法』大修館書店

■関連する科目

教育課程論 教育原理 教育史 教育方法I/II 教育・発達心理学I/II 英語教育入門